

彼岸だより



東澤山 菜流寺
 住職 武山清堂
 〒 421-2102 静岡市葵区油島 122
 電話 054-294-0542 (秘在寺)
 Fax 054-294-0709
 info@hizaiji.net
<http://hizaiji.net/> (秘在寺)
<http://ashita-an.hizaiji.net/> (あした庵)

◆お彼岸

この冬は暖かでした。以前はこの季節になると毎日のように「異常乾燥注意報」という言葉が聞かれました。今はこういう風にはいわないようです。が、その名の通り、乾燥した晴天が続いたものです。今年も暖かくて過ごしやすい一面雨も多く、いつもの冬と何か違う、これでもいいのかな？と皆さん感じられたことと思います。

「逃げていく」という言い回しの通り、閏年の今年でさえもあつと言いう間に二月が過ぎてお彼岸が近づきました。ご先祖様が待っています。どうぞお墓参りにお出かけ下さい。

◆春彼岸法話の会

中止のお知らせ



毎年恒例の春彼岸法話の集いは新型コロナウイルスによる催し物自粛に従い、中止となりました。四十年以上ずっと続けてきたお彼岸の行事なのでとても残念です。

◆住職交代のご挨拶



いつも菜流寺の護持運営にご協力をいただきありがとうございます。副住職の武山一堂(たけやまいつどう)です。

昨年よりお施餓鬼等でご報告を致しましたように、この四月一日より現住職武山清堂と交代し新しい住職に就任させていただきます。住職就任にあたり、これからの秘在寺・菜流寺の寺院運営についてお伝えたいと思います。

◆新年会

昨今、マスメディアでは寺離れや仏教離れが加速していると盛んに叫ばれていますが、この安倍奥は比較的小規模な寺院が多く、檀家様の顔がわかる距離が近い寺院で、まだまだ温かく皆様に見守っていただいていると日々感じています。

しかしながら同時に時代が急速に変化し続けている事もまた事実です。この秘在寺・菜流寺の利点を生かして古くから続く「お寺らしさ」を守りつつ、それ以上に「今ここ」に合わせて対応のできる柔軟で新しい運営をしていきたいと考えています。

また以前から申し上げていることですが、葬儀や法事などの仏教儀式だけではなく、常日頃から人が集まる場所として、檀家様、そして地域の皆様に求められる寺院・僧侶でありたいと思っております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



一月二十六日、恒例の新年会を行いました。出席者は十六名、檀家の皆様とゆくりお話しする貴重な機会です。まずは読経、そのあとはお酒も入って和やかに……。



◆菜流寺墓地参道修復工事

大川組様による工事が始まっています。お墓参りの折にはご注意下さい。

◆秘在寺墓地移設事業

年明けから松下土木様による工事が始まり、一月十九日には閉眼供養を行いました。前日の雨は止んだのですが、青空が広がったのは朝のわずかな間だけで、式典の時には曇り空、会場となった旧本堂跡地は大きい樫の木があるため日が当たりません。ご参加の皆様、寒い中をありがとうございました。



読経後焼香、移転する皆様の名前が一軒ずつ住職によって読み上げられました。その後、お墓にのぼりそれぞれのお墓の前で読経し、骨壺を取り出されました。骨壺は写真の建物に安置し、工事期間中に法事をなさる場合にはここで読経を致します。永代供養の方は、この日のうちにお骨を納めました。墓地に向かうモノラックが設置されたので、お墓参りの皆様にはご迷惑をおかけしますがご了承下さい。



三月中には墓石をおろす作業が終わり、三月中旬から下旬にかけて、新墓地の舗装、フェンス等を設置する予定です。その後保健所の検査を経て、いよいよ新しい墓石設置の作業に入ります。山上の墓地のモノラックも三月末以降に撤去する予定です。

◆花まつり

四月八日はお釈迦様のお生まれになった日、今年も花御堂を飾ります。八〜十日の間にお参り下さい。八日にはしずはた子ども園の皆さんがお参りに来てくれます。



◆お年忌（法事）の心得

持ち物 本堂に お花・供物・お布施

お花は花瓶一本分。お供物は特に決まりはありませんが、お菓子と果物など、亡き方の喜びそうな物をお供えしましょう。僧侶へのお礼は「お布施」と表書きし、供物と一緒に供えください。準備の都合上、施主様は十五分前にはお越しください。

持ち物 お墓に お花、線香、水

お花は新しい物をお供えしましょう。水は浄めるためのものです。花瓶・水鉢を洗って中に入れ、石塔に水をかけて浄めましょう。

お線香は火をつけてお参りの方一人一人に渡しませう。線香を立てたら手を合わせて礼拝します。終了後、前回の塔婆が残っていたら塔婆入れかごに下げましょう。

お年忌は亡き方（先祖）に感謝の気持ちを表す場であると同時に、家族縁者の絆を深める仏教行事でもあります。なるべく親子で談話の場をもうけましょう。解散する前には次の年忌の年を



◆延命十句観音経

秘在寺や菜流寺での葬儀や法事の時に必ず読むお経に「延命十句観音経」があります。葬儀の時に配りする紫色のカードのよ
うな小さな経本(きょうほん)に書いてあります。円覚寺派管長、
横田南嶺老師様の「祈りの延命十句観音経」という本に、意識が
書いてあったのでご紹介します。

延命十句観音経

(繰返す)

かん ぜー おん
観 世 音

観世音菩薩

なー むー ぶつ
南 無 仏

仏に南無(帰依)したてまつる

よー ぶつ うー いん
與 仏 有 因

仏と因あり

よー ぶつ うー えん
與 仏 有 縁

仏と縁あり

ぶつ ぼう そう えん
ぶつ 法 僧 縁

縁により 仏と法と僧との縁により

じょう らく がー じょう
常 楽 我 浄

常・楽・我・浄の四徳を得ん

ちよう ねん かん ぜー おん
朝 念 観 世 音

朝な朝なに観世音を念じ

ぼー ねん かん ぜー おん
暮 念 観 世 音

夕な夕なに観世音を念じ

ねん ねん じゅう しん きー
念 念 従 心 起

念々、心より起こり

ねん ねん ふー りー しん
念 念 不 離 心

念々、心を離れず

人の苦しみを救おうとなさる
その心こそ仏さまのみ心であり
私たちのよりどころです
この仏さまの心が
私たちの持つて生まれた本心であり
さまざまなき縁にめぐまれて
この心に気がつくことができます。
仏さまと仏さまの教えと
教えを共に学ぶ仲間とによって
わたしたちはいつの世にあっても
変わることはない思いやりの心を知り
苦しみに尽くすしみを知り
人の為の慈悲の心を持つて生きることが
本当の自分であり
汚れなき世の中であり
清らかな道であると知りました
朝に観音様を念じ
夕べに観音様を念じ
一念一念 何をするにつけても
この思いやりの心から行い
一念一念 何をするにつけても
観音様の心から離れませぬ

「いーはいのちの力、生命力、「のり」は宣言を意味しています。
だから「いのり」はいのちの宣言です。人生にはいろいろな悩み
や難問が待ち受けています。そのように苦しいとき、人は「めげ
ずに生きるぞ」と宣言する、それが祈りです。そうすると祈る人
の心が活性化していきます、いきいきと暮らしていきます。変えられ
るのはお互いの心です。

横田南嶺著「祈りの延命十句観音経」より

この短いお経を繰り返し唱えらると、
心が穏やかになってきます。また短
いので覚えるのも楽です。いつでも
どこでも唱えられるようにしましよ
う。

聖観音↓



秘在寺ご本尊
十一面観音



◆ 過ぎた冬 そして春

暖かくなると寒かったときのこと
は忘れてしまいがちですが、
墓地の参道の脇に、秋明菊が一輪咲
いていました。撮影したのは大晦日
の日。秋明菊は池の周りにたくさん
咲いていますが、十月末が盛りでし
た。まるでドライフラワーのように
いつまでも咲いていた一輪、印象に残りました。

秘在寺の境内には紅梅・白梅・しだれ梅
などが咲きます。永代供養墓横の紅梅は八
重で、濃いピンク色をしています。満開
になると木一面赤く見えます。花の咲く
のは一番早く、毎年暮れのうちに咲き始め
るので門松に飾ります。しだれ梅はかわい
いピンク色で「乙女」という名を連想するね、
と言ったのはお茶の稽古をする「季節を楽
しむ会」のメンバーです。

梅の後は桜、これは現在工事中の道の脇
に大倉十郎さんが植えてくれた河津桜です。
二月中旬に満開でした。

二月にはクリスマスローズが花をつけま
しました。暮れのうちから日本水仙が咲いてい
ました。例年よりかなり早く他の水仙も
咲き始めました。春の訪れが楽しみです。



暮れに撮影しましたが、どのお墓もきれいに掃除されお花が入
って見えています。ご先祖様もきっと喜んでいらっしゃるでしょう。こうし
て見ていると自分の先祖だけでなく、同じ墓地に眠るすべての人
たちに親しみを感じます。



◆ 新型肺炎による催し物自粛

二月下旬から新型肺炎の拡大防止のためイベントなどの自粛が
始まりました。寺院関係でも講習会やイベントなど様々な行事の
中止の情報が入ってきました。お彼岸の法話会は実施されるの
か？市仏教会の花まつりも開催されるのだろうか？など連絡を待
っていました。結局安倍花園協議会、お彼岸の法話会は中止とな
りました。仏教会の花まつりは三月五日の理事会で検討、四月十
二日秘在寺で開催予定のコンサート「シフクノトキ」は様子見状
態です。この彼岸日より法話会や仏教会花まつりのお誘いの文
章を掲載していたのですが、配付直前にそれらはカット、そして
この文章を書いていたのです。お彼岸の法話会は講師が「昨年大晦日
生放送のぶつちやけ寺スペシャル」の出演者で、著書も四冊とい
う布教師さんでしたので楽しみにしていました。とても残念です。
仏教会の花まつりは「南直哉師」の講演と三重県の和尚さんたち
の太鼓演奏が予定されていたのでこれも楽しみに
していたのですが、現状では中止の公算が大きい
ようです。既にチラシを配付してあるので、行く
予定であった方は、開催されるかどうか秘在寺に
お問い合わせ下さい。
なお、秘在寺のヨガ教室、お菓子教室、御詠歌、
写経、季節を楽しむ会の活動は平常どおり行っ
ています。

